

## (12) 食の安全に関する意見

### 問12 食の安全に関するご意見をご記入ください。

432名より、食の安全に関するご意見をいただき、以下の通り分類して掲載します。

- 国や自治体等に向けて（情報提供のあり方、安全基準・検査、政策等）……No. 1～86
- メディアに向けて …………… No. 87～112
- 企業（生産、流通、販売等）に向けて …………… No. 113～159
- 消費者に向けて（食の安全に関する学習、判断、責任等）…………… No. 160～232
- 原発事故による食品の放射能汚染に対する不安 また風評被害について…… No. 233～308
- 食に関する不安要素について（TPP、遺伝子組み換え、輸入食品等）…… No. 309～339
- その他（乳幼児・こどもと食の安全、消費者としての姿勢、生協組合員としての意見、アンケート）  
…………… No. 340～432

注1) 複数の分類に当てはまるご意見は、主たる意見に分類し末尾に\*印をつけました。

注2) 特定の団体に対する評価や要望は削除し、意見のみを掲載しました。(\*\*印)

### 国や自治体等に向けて

#### <情報提供のあり方>

1	国・農家など食に関わるすべての機関が正しくわかりやすい情報を消費者に提供すべきだと思います。
2	消費者が正しく判断できるような情報提供や議論の場を設け、一人一人がしっかり考えて選択できるように望みます。
3	消費者側として安心できる情報があればよいと思う。（農家から消費者までの流れがもっと詳しくなれば）
4	消費者に正しい情報が届くようにしてほしい。特保にダマされたり、企業優先の世の中で、本当に正しい情報を皆に広げていただきたい。
5	情報の提供をもっと頻繁にしてほしい。
6	食についての情報が小出しで出るので不安を感じることもある。
7	政府が隠さずに正確に本当の事を言ってほしい。
8	とにかく国が正しい情報を発信して欲しい。
9	とにかく正確な情報を国民にすべて出して欲しい。
10	放射線についていえば、チェルノブイリ後、スイスでは野菜の販売でも放射線量が書かれていたと聞きました。基準値内=0ではないので、そこは消費者の選択や覚悟が必要であり情報として何も不安が食の安全不安につながっていると思う。
11	もっと食の安全について情報がほしい。風評被害で苦しい思いをしている生産者が安心して私たちに供給できれば産地を考える心配もなく買えるかもしれない。復興支援はしたい。
12	安全と公表されたものが後から安全でなかったとわかったりしたことから、念のため買い控えるという対応になった。二転三転しない情報だと風評被害が起こらず生産者が助かると思うのですが、なかなか難しいことだと考えている。
13	基準値違反を報道する際は何倍という相対値だけでなく、絶対値や、ADIなどとの差も伝えてほしい
14	欠かすことのできない毎日の食事なので、正確な情報で安心安全な食品をお願いしたいと思います。
15	検査データは正確であってほしい
16	検査の表示 消費者に対する情報がなく、やはり安全なものをと関係ない地区のものを少々高くても購入します。現地のもので異常がなければ購入したい。

17	検査を適切に行うことによって、食の安全について信頼を得るべき。
18	原発事故後の海産物などについて風評被害と言えるものと、言えないものがあると思う。国の情報の出し方などが問題をさらに悪くしている。数値の根拠も一定の物差しがなくて場当たりの。また、不安に思う子育て世代の保護者に対して心からの対応がされているか疑問。
19	今は情報を信じて購買するしかないと思っています。それだけに産地や県や結果の表示等が適切についていることを求めます。
20	最終的には自己判断、それが可能なように情報を提供すべき。
21	消費者が食品に不安を持つのははっきりとした情報がないからだと思う。提供する側ははっきりとしたデータを消費者に伝える必要があります。消費者も食品の安全性に過敏なところがあると思います。
22	消費者庁はもっと食の安全に関する情報を、わかりやすく提供していくべき。*
23	情報が信頼できないことが一番不安である。食の安全は直接自分の命とかかわることなので安心して安全な情報がほしいです。
24	情報を隠さずに速やかに開示して欲しい。
25	情報公開と信憑性が大切と感じます。
26	放射性物質の基準をだれにでもわかるように明確化すべきである。そして本当に正しい情報を流すべきである。
27	放射能による農産物の影響が信用できる情報であるかが自分で判断できない仕組みであることが問題であると思う。
28	放射能全般及び被曝した食品に対する考え方が多様であること、政府の対応・方針や政府からの情報が不十分で未だにぶれるため、残念ながら全てをそのまま信用することができない状況にあります。
29	命にかかわることでもあるので安心安全なものをと心がけています。原発事故で被災した地域の食品の購入とありますが狭い日本、気にしては生きられないという思いはあります。しかしできれば少しでも悪影響のものは取りたくないと思います。賞味・消費期限、食品添加物等も正しくデータを出してほしい。
30	問11に関して、今までの国の対応を見ていると、国の安全報道は信じられない。それが一番の問題。
31	問題解決に対してわかりやすく解説して、アナウンスしてほしい。
32	公の機関で大丈夫とのことで原発後も買っていたが、狭山のお茶やその他（千葉）で解釈の仕方が異なり、結果的には回収する物であったり、公のおすみつきと思っていたものも安心できないことがわかった。
33	買う側にとっては表示を頼りに選ぶしかないが、どこまで信用できるか疑問がある。自己防衛として原産地やあやしい表示のものは避けてしまう。
34	国（政府）の発表は信用できない。
35	国の安全行政は“消費者不在”で問題。
36	国の食品安全政策はあてにならない、信じられない。
37	国民に正しい情報が十分されていないのではないかと？汚染水などは2年半もたってから「もれていた」とは…。とりかえしのつかない事だと思います。
38	本当に安全な保証できる基準値を正直に出してもらい、それにそっていれば「安全、安心は大丈夫なのだ」という声を前面に出してもらいたい。安心させる気持ちが大事なのだと思う。ウソやいつわりはダメです。
39	情報が隠されているように思えるので不信。いろいろと後から情報が出てきて不安になる。
40	政府やメディアが流す情報は信用できない。

41	本当に正しい情報が提供されているのか信頼しきれていない。
<b>&lt;安全基準・検査について&gt;</b>	
42	「食の安全」の定義が不明。「安全基準」も不明。これらを明確にすべきではないか。
43	安心・安全の根拠を示す情報が必要。*
44	安全基準の設定を恣意的にならないように第三者機関を介入した客観的基準設定を設ける必要。
45	安全性がわかる表示（マークとかシール）がされていれば良いのではないのでしょうか。
46	安全の基準が良く分からないことが一番問題だと思います。食品に貼られている表示もあつたりなかったりしますが、あつたとしてもそれが安全なのかどうかよくわかりません。表示についても書いてある範囲がものによってまちまちなものもあります。産地についてはよく見えています。
47	規制も規制委員会も企業寄りなので、消費者の意見も取り入れてほしい。
48	検査基準だとか安全性だとか一般の消費者にはむずかしすぎて受け入れにくい。
49	食の安全について明確な基準が必要です。決まった基準が引き下げられてしまうと不安です。（国に対する不満）全品検査がないと不安です。
50	安全検査の基準がはっきりとわからないことが不安です。
51	国が安全と言っても信用されないひとつに、安全基準を年間1ミリシーベルトに基準を下げたことに問題があると思う。限りなくゼロが近ければいいと言う印象を与えたのではないか。他とのリスクと比較しても、年間1ミリシーベルトにする意味があつたのか疑問。また、放射線のリスクばかりクローズアップするマスコミの姿勢が風評被害を招いていると思う。*
52	市場に出ている食品は、食品安全委員会（国）等による安全基準を通過した物と考え消費しています。しかし、色々問題は起きている現状があり、全て安全とは考えにくい。常に信頼できる「食の安全についての情報」を望んでいる。
53	食事を作ることが不安。国が基準をはっきり決めて（安全なように）してほしいと思います。
54	残留農薬基準・添加物や広く化学物質問題に関しても国・行政の基準は、国民の生命・健康より輸出入・流通に重きを置いている実情があります。
55	検査結果等うそのない、また速報で情報が欲しい。*
56	検査を信じたい、大丈夫だろうか、気持ちは揺れています。
<b>&lt;政策等について&gt;</b>	
57	福島第1原発事故、TPP交渉など、国は責任を持って対応し国民の安全を守ってほしい。
58	一般（国民）にわかりやすく、説明会開催を多く開く。
59	国・自治体の食の安全に対する姿勢が明快になっていない。国民の健康に的を当てて考えてほしい。
60	国が食の安全に対する対策をもっと確実なものにする義務があり自国の食に対する供給に力を入れるべき。
61	国は国民（消費者）の健康を守る立場に立っていろいろな事に取り組んでほしい。
62	原発事故でまた放射線もれが見つかり、作物への影響は大きいと思います。復興予算がまだかなりの金額が残っていると新聞で読みました。他の問題よりも国（政府）で早く除去すべきです。そうすれば私は買います。
63	国民の健康を考えるのは国・政治の責任と感じる。とりあえず子供（次世代）を健康・健全に育てたい。また知的にも成熟した大人に育てたい。（客観的に見られる／考えられる人へ）子供は未来なので。
64	食の安全は国民の願いである。国をあげて食の安全を消費者の望むようなものでできていくと良いと思う。
65	食の安全は食品の検査体制が消費者に信頼される事が重要となる。

66	食の安全を徹底するのはむずかしいと思うが、常に第三者的立場のものが調査や監視をしていく必要があると思う。また、人体に少しでも影響があると思われる添加物等も、かくさず公表していくべき。＊
67	どこの情報が正しいのか判断できない。信頼できる審査機関を設置して欲しい。＊
68	表示は正確にしてほしい。注意事項も表示してほしい。公的研究機関での情報を公示してほしい。
69	不必要な添加物は使用せず、使用した（最低限）場合は必ず記載するルール作りを希望します。
70	遺伝子組み換えや、残留農薬、放射性物質には厳しくあってほしいと思う。
71	果物を購入の際、あたりハズレが大きいと感じる。特に大袋入りのもの。糖度表示など（店舗の付加価値ではなく）義務付けてほしい。
72	簡易測定でよいから、すべて測定し、結果を数段階のカテゴリーで表示するべきである。
73	行政の検討委員会等の構成メンバーである、専門家や消費者団体の代表者は、両論者を平等に選任して欲しい。
74	国の検査体制を整える。
75	食のジャーナリズム育成をお願いしたい。
76	食の安全は重要だが検査や情報提供にかかる費用が高額。BSEなどは費用対効果を考えた方がよい。
77	食の安全は消費者、国民の願いです。情報は正しく国民に知らせてください。公の安全委員会にも期待します。
78	食の安全は生きていく上に必要であり、100パーセント安全であることに越したことはありません。無理であるなら設定安全度を示し、教育して戴きたいと願います。これからのことです！
79	食は生きることの基本ですから、安全な上にも安全なことが望ましいと思います。
80	食品を購入する場合には成分表示がありますが、飲食店での外食でも、全て明示することは無理でも求めれば開示されるシステムがあればいいと思います。
81	食品添加物が多すぎる。海外の肉類、果物などに添加されている薬品を発表してほしい。
82	食問題は幅広いので機会あるごとに向き合う必要がある。特に表示によって消費者が惑わされることは防いでいかなければならない。
83	信頼のできる情報提供機関の確立を希望。
84	徹底的にテストや検査を実施して欲しい。
85	国内で生産された食品を食べたい。今の自給率では、とても心配。
86	メドが立たない汚染問題、中国製品のカドミウム汚染、ヨーロッパより500倍甘い日本の農薬基準、知れば知るほど安心して外食できないのが悲しい。

## メディアに向けて

87	100%安全の食品を求めたければ自給自足をするしかないと思う。売られている商品に書かれている事も100%信用は出来ないので、自分で判断するしかないかなと思う。原発などはメディアがきちんと報道すれば風評被害はなくなると思う。
88	色々と情報を得る機会が増えたことで事実でないことも情報として拡散している現状は問題と考える。
89	食中毒にならなければある程度は目をつぶる。情報が交錯している。
90	震災をきっかけに食の安全について興味を持つようになった。情報源であるメディアの報道が偏向気味であるため、現時点では「疑わしきは買わず」とせざるを得ない。
91	正確な食の安全の報道を是非お願いしたいといけません。本当の事実は知れるとパニックになるのでしょうか。不安で一杯になっています。表示の仕方についてもびっくり。早急に正してほしいも

	のです。＊
92	その地域で嚴重に対応すれば問題ないのではないかと。あまりおおさわぎするので、かえって風評がひどくなるのではないかと。
93	特に被災地の安全な食品が消費者への十分な情報が不足していたり安心につなげられないことでさけられていたことに心が痛みました。メディアの正しい情報のあり方や伝え方は今後課題だと思います。
94	マスコミは騒ぎ過ぎだと思う。売る方は安全であることを確かめていると思うので私はあまり気にしていない。添加物や鮮度が落ちたものこそ問題である＊
95	メディアの伝え方は偏っていると思います。
96	メディアは十分に配慮した報道をしているが、そのことがかえって言論統制されているように思う。なぜ原発事故の影響下にある土地の食品をあえて食べなければならないのでしょうか。「避ける」というのは自然なことだと思う。
97	メディアは正確な情報を！
98	原発などはメディアがきちんと報道すれば風評被害はなくなると思う。
99	食品の適正価格をメディアでも伝えてもらいたい。信頼できる情報が必要だ。
100	正しい報道に力を入れてほしい。
101	風評被害により苦しんでいる生産者さんの方の為に、メディアの方々には情報は十分に集め、信憑性を確かめてから報道していただきたいです。
102	放射性物質についての危険性については、テレビでもっと頻繁に専門家の意見を聞きたい。
103	放射線のリスクばかりクローズアップするマスコミの姿勢が風評被害を招いている。
104	放射線量について、日本の基準が欧米について高いことも問題であり、世間では、原爆と混同しているようにも思われる。マスコミ、関係省庁の消費者向け情報の伝え方に工夫が必要と感じる。
105	無責任な風評、また関連機関の無責任な情報提供、メディアによる興味本位な情報提供は目に余るものがある。
106	情報の公開が正しく行われていない。スポンサー企業への配慮からか？圧力からか？
107	メディアの伝え方を見ていると、「本当に大切なことはかくされているんじゃないか」と疑ってしまい、子供や身近な人を守るには慎重の上にも慎重にならないと…と主婦が感じている為、過剰に産地を選んだりする行動につながっている。＊
108	国内の安全基準を明確に報道しているメディアが少ない。今後 TPP 等、海外からの輸入品に関しても明確な食の安全に関する表示を義務付ける必要があると感じる＊
109	実際には危険というほどのことは、市場に出ているレベルのものではそれほどないとは思いますが。また年齢による影響の差も大きいとはいえ、自分の年齢位になるとあまり不安に考えるべきではないとも思う。ただ幼児・年少者がいる人たちは、影響度も違うと考えられ、避けるのも自然かもしれない。報道等は今ひとつ信頼度が低いと思う。＊
110	食の安全に関する情報は主に新聞・テレビから得ているが、その信憑性を疑問に思う。
111	東電が現在の状態をちゃんと情報を国民に伝えていない状態で、なおかつ、国が国民の安全を守る義務を怠っている今、小さい子がいる家庭は、この先の健康の不安はぬぐえないと思います。＊
112	報道等は今ひとつ信頼度が低いと思う。
<b>企業（生産、流通、販売等）等に向けて</b>	
113	産地の偽装はやめて欲しい。

114	自分の身内に食べさせられる食品の製造をメーカーや流通側はすべき。産地偽装や内容の虚偽については、人間性の問題だと思う。
115	過去にたくさんの食品偽装問題があり、食の安全に関する情報の何を信じて何を疑えばよいのかわからない。
116	最近も米の偽装問題があり、食の安全性が改善されないことに驚きを感じます。遺伝子組み換えも知らないだけで色々なものに混じているのではないかと不安になります。
117	食に不安があるのは、やはり今まで産地偽装などのいろいろな問題があり、安全という表示や説明があってもそれらの情報は信用できない。消費者の信用を回復するのが国の責務になると思う。
118	安心して買えるよう、検査と情報公開はこれからも徹底してほしい。*
119	命にかかわることでもあるので、安心・安全なものをと心がけています。原発事故で被災した地域の食品の購入とありますが、狭い日本、気にしては生きられないという思いはあります。しかし、できれば少しでも悪影響のものはとりたくないと思います。賞味・消費期限、食品添加物等も正しくデータを記してほしい。
120	健康な身体づくりに欠かせないのが食物です。安ければよいではなく、どのような所で誰がどのようにして作ったのか知り、食べていきたい。その意味で産直はとても良いと思う。また商店も食の安全を第一にし、どのように作られているのか消費者に知らせていくべきと思う。
121	これを食べると健康にいいとかセンセーショナルな情報が流れるが、ブームが去った後どうだったのか、本当に確かな事なのか、誰でも通じることなのか、きめ細かな情報がほしいところです。
122	商品を買う場合、農産物であれば農薬がどれだけ使われているかなど分からないので、せめて輸入よりは国産のものを利用してもらう為の情報を多く流すことが必要ではないでしょうか。*
123	情報公開が必要。数値が安全なら買う。トレーサビリティ大事。生産（現場）から流通まで公開して欲しい。
124	確かな検査と情報の公表。（信頼できるもの）*
125	正しい情報をきちんと伝えて欲しい。
126	正しく運営している生産者と、価格のみで見えないからいいかと適当に運営しているであろう生産者が混在し、風評被害は生まれると思います。
127	できるだけ安全なものを購入するよう気をつけていますが、外食をするときは原材料が分からないため、できるだけメニューに産地等を記載してほしいと思います。
128	とにかく産地を細かく明記してほしい。（国内産明記は論外）あとは購入者が判断すべきこと。*
129	ニュースや新聞などで、食品の安全について情報提供されているが、実際にお店などでその日に売っている商品がどれくらい安全なのかが、その場でわかるように情報を表示してくれると購入しやすい。
130	放射性物質の検査結果が、見える所に貼ってあったりしたらよいと思います。（スーパー）
131	豊かな確かな情報が豊富にあり、購入してもいいと思える情報が少ないと思う。なかなかすべての商品の検査は費用、労力もかかるので大変だと思うが、出来るだけやってほしいと思う。
132	安全に関連して、商品の表示が増えたり、複雑になったりしているように感じます。以前にはスーパーでトレーサビリティが分かる端末も見かけました。情報開示が重要だとしても、いちいちすべてに目を通して買い物してられません。また、情報が増えるほど、不安も増えていくような気がします。
133	過去の日本と違い世界各国から食料供給が日常茶飯事になっている現在では、日本国内のみならず海外の安全基準についても知識を得ることが消費者には求められると思う。国内でも、海外に製造を委託している業者、または輸入業者は価格競争に走らず、きちんと自社製品についての情報を把握し、消費者に情報開示を行うことが必要だと思う。

134	外食産業での価格競争がはげしいため、その中身の安全性や品質が心配になってくる。毎日昼食を外食ですませる者にとって正確な情報が欲しい。
135	私たちは、与えられた情報を基に判断するしか出来ないので、その情報は本当に正しい情報を示してもらえないと思う。それなのに表示方法は製造元を加工した場所しか書かない事はおかしいと思う。
136	事実は正確に出してほしい。食は食べ合わせが大事だと思う。
137	消費者側は過度に安全を求めすぎ、生産者側は適切な情報提供の努力を怠っているように感じる。消費者、生産者のどちらかに問題があるのではなく両者に改善の余地がある*
138	生産履歴の共有化（各食品等）
139	製造過程での安全管理、原材料表示などが消費者の安全につながると思います。
140	製造元や産地の情報を直接消費者に届けられることができれば風評被害も少しは防げる効果があると思う。今後、スーパーなど小売店などにも協力を得て、最先端 IT を取り入れ、情報発信できるしくみを工夫する努力をしていくべきだ。
141	安全な食生活を営みたいと思うが、実際のところ、安全として供給されているものへの信頼感はない。企業の営利至上主義に基づく隠ぺい体質に問題がある。
142	情報に不安がある。
143	食に対しての不信感は根が深い。作っている人の顔が見えないし、偽装が多いです。
144	「食」の安全は、避けて通れない問題である。誰もが心配しないで、安心して食べられるように、生産者が生産段階で気をつければ望ましい。
145	あまりにも添加物が多すぎる。大きな冷蔵庫が普及しているので、もう少し賞味期限が短くても、そのままの素材で加工してほしい。
146	スーパーに福島県産の食品を陳列していれば、スーパーが安全性を確認して陳列したのだと信頼して購入する。今後、福島県産を購入して復興支援する気持ちはあるので、スーパーは福島県産の食品の安全性を確認して店に陳列していただきたい。
147	生産者、地方の声を多くの人に伝える大切さを考えるツールを皆で考える。
148	生命に係ることですから自分で選ぶより外はない。関係される方々にしっかりやっていただきたいです。
149	アレルギーなど個人差もあるので一概に安全と決定できない。給食や病院食等はなるべく安全なものを提供することが重要。
150	加工食品には使われている材料の産地を記載する規定が無いが、記載を義務づけるべき。
151	食の安全に関するテストを信用している。又、表示を信用したいところだが、一度うそをついていることが分かった企業のものは信用できないので買わない。*
152	食品表示の欄を大きく、表示の字も大きくして、含有量の多い物から順に。〇〇〇パウダー、イーストフードなど原材料をまとめて内容が分らなくなるように、パン等焼いたらなくなってしまうものも含めて表示してほしい。*
153	生鮮食品は産地や実物を見て購入できますが、加工食品については目で確かめられない（添加物や原材料表示など）ことがあるので、正しい表示・わかりやすい表示をお願いしたい。
154	世の中のレストラン（ファーストフードやファミレス）の食品（添加物など）内容詳細や安全性を知りたい。
155	安全情報は直接販売する側がしっかり表示する必要がある。消費者は購入する店を信頼している。
156	産地をわかりやすく明記したほうがいい
157	加工品は原材料や産地などが曖昧で不安が多い。食品に関する事故が多すぎて信頼できない。なるべく

	自分の目で確かめて農薬の少ない国産品の購入を心掛けている。
158	原産国表示・遺伝子組み換え食品表示の基準がわかりにくい*
159	食品表示（産地・材料・添加物などなど）、必ずしも表示が信頼できるものではないと思っている。

## 消費者に向けて（食の安全に関する学習、判断、責任等）

160	若い人（男女問わず）にもっと勉強して頂きたい。これからの世代のために。
161	食の安全が健康に大きな影響を与えると思うので十分な知識を身につけたい。
162	「100%安全な食品はない」ということを、もっとたくさんの人が知る必要があると思います。
163	安全性に関してもっとテレビを活用してPRすれば良い。本当の安全性を理解している人は少ないと思う。
164	安全性について大げさな報道で消費者がよくわからないまま避けていることが多いように思われる。
165	消費者が色々勉強できる場所が必要だと思います。
166	消費者が正しい情報を得ようと努力することも大切だと思います。
167	消費者のかたよった知識による風評被害をなくすべきだと思います。
168	信頼できる食品を見つけることが難しい社会になっている。消費者は常に勉強しなければいけないと思う。
169	生活している中で安全でないものも口にしていると思うが、個人の意識を深め高めていく事が大切。
170	問3のAにつきると思います。食の安全についての啓発、食育を子供の頃から行うことが必要だと思います。食は人間にとって大切なもので、もっと関心を持つべきと考えます。
171	被災地の食品を食べて死者が出たわけでも無いのに、放射線物質がどうだとかで極端に避けるのは失礼だと思う。
172	放射性物質が騒がれているが、一般消費者が知らないもっと危険なものがたくさんあるのでは？
173	メディア等ではスポンサーに不都合な情報を消費者に伝えないと思うので消費者は自分で正しい情報を学ぶ必要があると思う。*
174	もっと生産者と消費者が交流して、生産者の努力を知らせる必要があります。
175	過度の価格競争などで食べ物の基本である安全、安心がややおろそかになっている。提供する側は社会的責任をしっかりと持ってやっていただきたい。また消費者側もそうした販売側の姿勢をしっかりと見極めていくべきだ。*
176	子供たちにリスクという考え方を知ってもらうことは有効。
177	消費者が何を基準として食せばよいのか、基準を知り、食品を選択できる能力を教育してほしい。
178	消費者が学ぶべきである。
179	消費者が自分自身で食の安全を考えられるような、情報提供と普及啓発が必要。
180	全体的な視点が必要。放射能だけでなく、添加物、人口ホルモンなど。さらに食だけでなく他のリスクとの客観的比較も必要。
181	単なる風評に惑わされている人が多く感じます。その上で情報の提供の仕方、安全性の信頼度を国がやるべき。農家や地域の人では支えきれないのでは。
182	知識の偏りを感じている。消費者も正しい知識を身につける必要がある。
183	添加物、農薬、放射性等気をつけたい事項はたくさんあるが、自分の判断で避ける食品は避ける。
184	風評被害を気にする人は、自分の目で数値等を判断するのではなく、風評のみを信じてる人だと思う*



185	福島県産の食材や、太平洋側の海産物に対しての風評被害は、放射能について科学的な知識のなさから不安を起こす消費者に大いに問題があると思う。
186	「○のだから安心」という事は信用できない。最終的には自分で判断し自分で選択するしかないと思います。
187	最終的に自己の責任。
188	需要する側供給する側の責任あるべき。
189	消費者がわがまますぎる。安心・安全・安価の「3安」が同時に成立することなんかめったにない。「食の安全」に対する不安を拡散させたのは、安価な食品の輸入を安易に求め過ぎた消費者のせい。
190	食品の安全性についての考え方について、消費者が理解を深めることが重要。行政で担保されること、企業の品質管理の状況などに関心を持つこと。
191	生産・加工・流通・消費のすべての投資で食の安全に対する意識をさらに高めることが重要。
192	「この食品を食べると良い！」などTVで放送されていると嘘っぽいと個人的には感じてしまう。添加物などには気をつけるようにしています。*
193	「食の安全」以上に、今は値段を気にしている方々もたくさんいると思います。“消費税が上がる”と同時に、まず食から経費を削減していく人が多いと思う面、良くないと思いました。
194	ある程度の物は仕方ないとしても、食する物は家庭で手作りする様にしたいものです。
195	食の安全には食品を提供する側と消費する側両方に正しい知識が必要だと思います。
196	「安全」とは一概に言い切れるものではなく、各々が自分の体質や体調等を考慮しながら、何なら大丈夫か、何はだめなのかを検討し判断するものと考えて。
197	100%安心はないですが100%に近くなれるようにしたい。消費者もよく考えて行動すべき。
198	あまり神経質にならずに、旬のものを新鮮な状態で食べる。風評被害に惑わされない。
199	安全を気にしすぎることが良くないのではと思います。
200	一人一人が健全な消費行動をすることにより生産者側も変わると思う。
201	今の世の中、100%安全な食品というのは難しいのではないのでしょうか。安全であることにこしたことはないのですが、いかにしてリスクをへらすかという消費者側の知識を身につけることも大切だと思います。
202	価格重視ではなく(多少高めであっても)商品の確かな物等、消費者がきちんと見極める力を持って日々過ごしたいと思っています。
203	賢い消費者でありたいと思います。頑張っている生産者を心より応援致します。
204	きちんとはっきりした情報を聞くことを重視したい。
205	市販品に安全な物はない。情報に惑わされず、自分の直感・信頼できる筋から選ぶしかない。食は政治・経済に基本的に左右されているので、メディアに翻弄されない様にするしかないと思う。
206	自分でよく観て判断する。日本の食品は安全だと思う。メディアのいろいろなことは自分で考えてみる。
207	消費者が「はやり」の情報に振り回されて、判断の優先順位が極端に変化しすぎていると思う。小売業は「お客様の声」が最も優先されるので、応えざるを得ない。(近年は、店頭で「お客様のご要望にお応えしました」というコメントとともに九州産のホウレンソウや淡路島産の牛乳が置かれるなど、フクシマ対応→間接的に風評被害につながっていると思われる例がしばしば見受けられる。) *
208	消費者が安心して購入できるように売り手側がしっかりとした情報開示をして、消費者側も一つの情報で判断するのではなく複数の情報から判断することが大切だと思います。*
209	消費者がもっと賢くなる必要がある。何事にも関心を持ち確かな目を養う等、努力していかななくては…。

210	食の安全については現在気にしすぎている点が多いと考える。安全なものを求めるという考えは理解できるが、その考えを異常なほどにつき通すのはいかなるものかと考える。絶対に安全なものは存在しないのだから、ある程度の妥協も必要である。
211	食のリスクコミュニケーションに消費者も積極的になるべきだと思う。
212	信頼を築き上げるための時間と努力が必要であるが、過剰に反応する必要はないと思う。
213	すべて自己責任だと思います。生きていく基本は生活習慣を整える事で、普段の生活がきちんとしていれば多少変な物を体内に入れても免疫力が少しは働き、自浄作用が働くのではと考えます。
214	生産者や製造者の方々に信頼できれば、風評とか情報とかにまどわされることもないのではないかと思います。
215	正しい知識が必要。
216	特に不安はないのですが、知識は必要だと思う。調理法など参考にしている。→野菜の皮むき、下茹で。
217	どんなに検査しても100%はないので、消費者側もよく考えて購入する必要があると思います。
218	何事も正しい（自分の）情報をさがし、考え、自分で判断する消費者になりたい。
219	販売する側ももっと材料（原料）の安全性にこだわりをもって欲しい。商品を購入する消費者も、価格重視ではなく内容重視で選ぶべき。
220	放射能に限らず、添加物の安全性、衛生管理など、考えていたら何も食べられない。正しい情報を仕入れ個人が正しく理解し判断していくことが重要だと思う。
221	マスコミの伝え方による影響力は大きいですが、消費者自身の情報選択力を高める必要があると感じる。
222	マスコミは片寄った報道をすることがあるので、自分できちんと調べて考えることが大切だと思う。
223	まずは情報公開。最終的には消費者の問題。（安心安全が安価に購入できるとは思わないため）*
224	メディアの伝え方は重要であり消費者もしっかり情報を受け取ったり切り捨てたりしなければならないと思う。*
225	メディアの伝え方に問題があると思う時がある。正しい情報を正しく報じるべきである。逆に消費者も正しい知識を身に付けて、食品が安全か否か判断できる力を身に付けるべきだ。*
226	メディアリテラシー教育がなされていないので、消費者がメディアに書かれていることをうのみにする。日本では“清潔”が“信仰”になっていて、科学的には意味のないことも問題とする気風がある。
227	利用者側ももっと情報をうのみにせず、基礎知識を学ぶことも大事だと思います。むやみに恐がるのも風評被害の一因だと思うので…。
228	価格、見た目を重視する考え方を消費者は見直すべきだ。
229	健康への関心が高いゆえに情報に振り回されている。正しい情報の提供と受け手の理解力が求められている。
230	自分の判断で安全を守る。判断の基準は幅広い情報を取り込み、取捨選択していくようにしている。自分自身で納得できたものを選ぶ。
231	消費者自身が、情報に対して振り回されることのないように考えてバランス感覚を保ち行動する。
232	情報を見極める目をもち、風評被害の加害者になることは避けたい。

## 原発事故による食品の放射能汚染に対する不安 また風評被害について

233	国が東電の放射能漏れ防止に介入して解決しない限り、放射能汚染についての不安は消えない。国の責任は大きいです。
-----	--

234	原発地域のものであっても、又は地方産であっても安全にかかわることについては、「はっきり」表示又は説明が欲しい。原産地（内外問わず）については不明のものがあるが、ハッキリして欲しい。
235	魚はひとつの海を泳いでいるので、本当に汚染されていそうでこわいです。甲状腺にたまるらしいとか、くわしく情報がほしいです。＊
236	福島原発の実態が判らない。本格的対処をする必要があり、真実を公表して欲しい。＊
237	放射能については、このままでは何も解決しないどころか收拾がつかなくなると思う。拡散させない政策、本気の検査体制、汚染地での生産をやめる、セシウムのみでなく他の多くの核種を測定する、（少なくともストロンチウム）核廃棄物並の基準は×、加工品も検査する等々。TPP参加すれば食の安全などなくなると思う。＊
238	放射能等科学的に安全性がまだ保障されていないものは、消費者自身の責任において食べることを選択すべき。少しでも安全性に心配があるものを選択しない人を責めてはいけないと思う。
239	放射能漏れについて情報公開がされていない。また責任の所在がないままに長期にわたって影響がある、または出ることにについて対策もなく自己責任になることから、ただ安全というだけでは信頼できない事態を風評と片付けてほしくない。被災地の問題や原発の問題を解決すること以外に、被災地の食品を安心して購入するのは経済的に無理です。将来の子供たちの健康を守ってほしい。＊
240	加工食品を買う時、添加物なるべく少なく表示してある物を買っています。福島の原発が問題。＊
241	原発事故の影響下にある土地の食品をあえて食べなければならないのでしょうか。「避ける」というのは自然なことだと思います。
242	原発事故のあとも、汚染水が流れ出ていたり、放射能はまだ福島の方が高いと聞いている。なるべく南の地方の野菜や魚を買っている。子供が小さいので安全を考えると仕方がないと思う。＊
243	2011年3月の東日本大震災後、北海道、九州以外でとれる魚は余り買わない。輸入品（チリ産、アメリカ産）の方が何となく安心に思えるがいかがでしょうか？
244	3.11以降（震災後）日本が情けない国になってしまったと感じる。（安全な食材が無いという意味でも、政府がオタオタし正しい情報を出さないという点に於いて）＊
245	いくら「安全です」と言われても信頼ができない。汚染水が海に垂れ流しになっているのに、首相が「コントロールできている」と世界に向かって嘘をついたことが、それを如実に表していると思います。＊
246	思わず産地を見て買い物してしまいます。東北を避けているかもしれませんが。いけないなあと感じつつ…。（たまには買います。）自分の目でおもしろいようなものを選んで、考えて買い物できるようになりたいと思います。＊
247	原発以降申し訳ないと思いつつも東北の米、野菜、肉、くだもの等は一切購入していない。＊
248	原発事故の東電と国の責任は大きく、不信感が拭いきれないのではないかと。正しいことを情報提供しても、素直に受けとれない状況があると思う。＊
249	原発対応の不十分な政府の打ち出す安全性は信用できない。申し訳ないが、西日本の商品が購入品のほとんどです。
250	食べる物は安心・安全が一番だと思います。原発事故以来、何が本当で真実なのかわからない気がしました。当事者も自分の事ばかりで相手（私達国民）の事を考えない様に思えて悲しいです。
251	何が安全で何が有害なのか、官公庁の発表も疑わしいが「素人の憶測」も相当数が「正論」としてまかり通っている。放射能に限って言えば、日本は広島、長崎と唯一の被爆国である。原爆の落された半径100kmの人々がどのような生活を送り、どういった影響があったか。戦後20年に広島県と長崎県で放射能と思われる病人が突出して多いわけではない。ついこのあいだまでラジウム温泉などにありがたがっていた人達が、急に放射能に拒絶反応を示すのはおかしな話だと思う。

252	東日本大震災があり、とても心が痛くなりました。今まで産地はほとんど気にせずに購入していましたが、やはり手が出ないのが現実です、今でも。
253	福島～原発事故でさらに汚染水が海に流れた。又は漂流物が太平洋を越えた等、実際海はつながっているとすると本当に安全なのか不安になる。
254	福島原発の汚染水問題／漁業について。漁業関係者がどれだけ努力して安全配慮した魚介の販売をしても、国および東京電力がきちんと情報出さない点が一番の問題。「本当に安全かどうか」信用できず、この視点では安全な「食」のビジネスも成り立たない。*
255	福島を支援しなければと思いつつ、産地で購入するのをためらうのも事実です。私達は本当の事を知らされているのだろうかという怖れが常にあります。*
256	ベースには原発事故に関する国や東電の情報発信への強い不信感がある。大事なことを国民に隠す国である。自分で海外からや専門家などから情報を入手し、自分で判断したほうがよい。ほかに産地があるのだから、万が一のリスクをとってまで被災地の農作物を買う必要はない。*
257	放射能が恐くて、カレイや平目、貝などはなるべく買わないようにしています。野菜は気にならないです。
258	本当に安全なのかよくわからない。風評被害というが、実際には安全ではないかもしれない。被災地の食品しか買えないので買っているが心配。
259	汚染水が地面や海にどんどん漏れ出していると伝えられているのに、漁業を行ったり肥料や原木などを県外に販売させたりするのは、なぜなのでしょう…。
260	今現在原発に問題があるのに、政府が大丈夫と言っているのが信じられない。
261	今現在流出している汚染水の海を泳ぐ魚をとっても安全に食べられるとは思えない。福島近辺の県の農産物も同じで、この先、安心してなんでも買える食べられるときは来ないと思うので、他国の物のほうが安心できるものではないのかと思う。
262	東電や国の対応、情報提供への不信が根底にあるため、被災地域食品に不安を感じる
263	福島、宮城県産（原発エリア）の魚などを見ると、まだすこし抵抗があるのが事実です。
264	福島の原発事故に対する政府の対応のひどさから、その政府が設定した食品の安全基準も安全性確保のための政策も信頼ができない。汚染地域、汚染が及んでいる地域の食品を食べない選択をすることも自由なのに、それを「いわゆる風評被害」のせいに行っていることが胡散臭い。*
265	福島原発から汚染水の海への流出による海産物汚染の現状が分からず不安です。それに限らず、次の世代の子供たちのために食の安心を確保することが私たちの責任であると思います。
266	福島第一原発の汚染水漏れで、東北産の魚は食べなくなりました。検査でOKだとしても、子供がいるので価格が高くて九州産を購入します。*
267	放射性物質の検査をしているが、検査している項目以外の放射性物質についてはどうなのかが気になる。 *
268	放射能の影響は長期にわたって我々の生活に及んでくる。ベクレル表示は現実的な課題ではないか。
269	野菜はできるだけ心配な産地のものは避けているが、魚はどこまで汚染が広がっているかわからず不安。福島沖で獲れた魚を静岡に荷揚げすれば、静岡産になるとのネット情報もある。
270	今あえて原発被災地域の食品を食べようとは思わない。より安全な地域の食品を口にしたいと思う。
271	今一番気にしているのは放射性物質と残留農薬の問題です。データを定期的に知らせてほしいです。*
272	原発事故から2年半経過しているにもかかわらず次々と問題が起こる日々、何を勉強して来ているんだろうかと腹立たしく思う。先ず何をするにも食が第一、蓄積するので怖い。健康で楽しくすごせるのは安心安全で安定した日々をおくりたいです。

273	原発事故による放射能汚染が今一番心配です。
274	被災地だけではない放射線の拡散に危惧している。原発問題の未解決。
275	福島で放射性物質のトリチウムが1ℓあたり15万ベクレル検出とあります。(朝日新聞9月15日)それも井戸水で。心配するのはあたりまえです。風評被害という言葉を使わないで下さい。福島の方には気の毒としか言いようがありません。福島で食べ物を作るということはそれを売ることです。食べた人が何年か後で放射能のため病気になるかもしれないのです。心配だから買わないのです。わかって下さい。
276	便利さの裏に本当か?の不安がある。原子力対応は国がもっと力を入れないといけないと思う。
277	放射性物質に関して人体にどのように影響するのか、すぐに分からないのがどうしても不安になってしまう。
278	放射性物質の影響については高齢者にとって今更問題視する事は無い。子育ての若者、乳幼児は大いに注意する必要があるので、放射性物質の判定については老人向けと若者向けに分類する事も一法と考える。*
279	放射能一食品への影響を100ベクレルから30ベクレルにすれば購入が増えると思う。*
280	放射能のみならず添加物、着色など加工上たくさんの薬品が使用されている現実をもっと知るべきです。*
281	放射能問題では、国が定めた安全基準の根拠が不明なために情報の信用度が低く、不信を招いたと思われる。特に水の汚染(水道水)など東京でもパニックになり乳幼児を持つ保護者にとっては不十分な情報に振り回された。国の指導のあり方や基準に問題があると思う。*
282	出来るだけ放射能汚染を避けて関西以西の農作物、海産物を購入しているが、他に選択の余地のない場合のみ、被災地のものを仕方なく購入している。
283	地元農家の方には申し訳ないと思うが、あのような大きな事故が起こり、食品が100パーセント安全であるとは考えにくい。全国への広がりを見ると、家畜の飼料も含め、しばらくは生産を中止すべきだったのではないか。農家の方の生計については、国や東京電力がすべて保障すべきだったと思う。対応があいまいであるのに、風評被害と言われても、やはり安全性に不安であり、購入はしたくない。
284	東日本大震災の後、スーパーから品物が一斉に消えたり、デマが飛び交ったことが、ものすごく怖かった。
285	被災地(特に福島県内)の風評被害が根強いが、無料配布だとむらがるのは如何なものか。
286	福島在住の知人から米、野菜、果物を送ってもらい、大変助かっている。環境カウンセラーでもある私は、もっと安心・安全を発信すべきだと実感している。
287	食品全般や放射能汚染の安全性について、科学的に未解明の点が多いにもかかわらず、極端な情報が独り歩きして拡散してしまう状況は、従来から変わらないと思われる。
288	震災直後スーパーでは福島産の野菜だけが見事に売れ残っていました。でもスーパーの横でやっていた被災地支援コーナーでは福島産の野菜が飛ぶように売れ大盛況でした。安全への意識なんてこんなものなんだと思いました。
289	風評被害に惑わされずになるべく安全な食材を誰もが購入できるように、自治体も協力してほしい。
290	「風評被害」といっても未だ福島第1原発の汚染水が垂れ流されている状況で福島産の食品を食べたいとは思えない。東京電力による実害。
291	汚染水問題を見る限り、被災地の海、土壌が絶対に安全だと言い切る事は出来ないと思います。風評被害と言いますが、必ずしも風評とは言えないのではないのでしょうか。その中で、小中学生のいる我が家の食卓に被災地もしくはその近郊の食物を乗せる訳にはいきません。被災地の方には本当に申し訳ない

	とは思いますが、家族の健康は守りたいと思っています。
292	家族構成によっても考え方の違いがあると思う。今、私達65才の夫婦だけで生活しているので、風評被害で気の毒だと思う所もあり買っていますが、孫と一緒に生活していたら買わずにいると思う。*
293	風評被害か否かはもっと時間がたたないと本当のところは分からないと思います。
294	風評被害という言葉にいつも違和感を覚えます。風評ではない。消費者の直感や政府の情報操作などを疑う根拠のある買い控えを風評というべきではないでしょう。それしか売ってない時にやむを得ず購入しています。
295	風評被害はあると思うが、実際に安全性に問題がある事もある以上、メディア等で報道される食の安全基準を100%信頼する事ができない。*
296	安心、安全な食品を子供には食べさせたいと考えていますが、生産者の方のことも考えると風評被害にも意識を向けたい。
297	安全に対する感じ方は人それぞれであり、特に放射能に対する消費者の目は厳しいと思う。
298	一過性のものとしてとらえなければいけないと思う
299	一連の原発の公表報道を常識的に見ると重要な情報を隠蔽しており、この不信感が情報の信頼性を損ねて風評被害を生み出していると考えます。食の安全性そのものについては、十分に注意しても現在では認識しようのない事象が将来出てくる可能性が十分にあり、あまり神経質になっていても完全な回避は不可能と考える。
300	何を信じたらいいのか悩みますが、風評被害を作ることはやめてほしい。*
301	原発事故による風評被害は現実にあると思う、安全なものを届けたいと努力している方たちの気持ちを想うと、気の毒だと思う。
302	情報は客観的で確かであってほしい。風評被害は国への不信。*
303	南東北、北関東の農産物には、安全性に問題がある。しかしながら、国の基準には、彼の地の農家を守るためにも甘くしなければならない点もあると思う。そのため、子供の口には入れたくはない。メディアが盛んに「風評」という言葉で一般市民に安全だとイメージさせている点が安全でないという一番の証拠。*
304	被災地の生鮮食料品については、やはり買い控えてしまいます。東北を応援するという気持ちがあるがやはり風評被害が気になります。きちんと検査をして、安全であるものについては、自信を持って販売してほしいのですが、検査もきちんとやってほしいです。*
305	風評被害など存在せず実際に汚染されているのは既知の事実です。隠蔽など行わず、以前の厳しい基準で全ての商品の全量放射性物質検査を行うべき。*
306	風評被害にみられるように都合が悪いと隠したりすることにより信頼をなくしたことが原因で、作物を作っている人たちに責任はない。*
307	風評被害は国への不信。
308	福島原発事故以来、野菜や米の放射能汚染に関する東と西の消費者の意識には、かなりの温度差があると思う。生産者は真剣に不検出を目指して取り組んでいるが、それに関する情報提供不足や市場での不当な扱いによって、それが更なる風評被害につながっているのではないかと思う。

## 食に関する不安要素について

### <TPP>

- |     |  |
|-----|--|
| 309 | 国産にこだわりたい。食品の自給率がどんどん低くなって来ているのではないのでしょうか。すごく心配です。TPPにすごい不安を感じています。* |
|-----|--|

310	情報開示が不十分。TPPが政治的に動いている中、アメリカからの圧力が大きい為か、アメリカの食の問題がメディアなどで充分発表されていない現状がある。日本の国民・消費者に対し、国・メディアが使命を果たしていない状況は深刻な問題をはらんでいる。*
311	TPP加入と共に輸入食品が多く入ってきて利用されることによって、国内の生産が減ることがとても不安に感じます。
312	TPP参加すれば食の安全などなくなると思う。
313	TPPのISD条項で世銀に訴えても必ず負ける。遺伝子組み換え食物やA社の種子が入ったりする事。表示できないことは大変こわいことです。
314	TPPに参加すると日本は大変なことになると思う
315	TPPに参加することで日本の食の安全がおびやかされることの情報をもっと発信してほしい。
316	TPPの行方で特に米の巨大産業に巻き込まれ化学物質で生産品が出まわり価格が安く広まること不安。
317	TPPの結果で規制緩和された輸入食品が次々と市場に流れた場合の対処の仕方が気がかり。
318	国をあげてTPP参加など許されない。
319	現在、国が参加を決めたTPPに消費者団体として反対して行ってほしい。
320	深刻な問題はTPPへの参加に付随する。日本に対し米国がTPP参加を強要している理由は、日本の巨大な個人金融資産（約1400兆円）と世界有数の保険市場や医療市場をはじめ、様々な利益の種にある。農業もその一つで、A社の遺伝子組換えに係る深刻な害、アメリカ・アジア諸国などの農薬過剰使用など、命に関わる問題が急拡大してしまう。食の安全保障が極めて不安になる。
321	若い時から関心があり、田舎によく出掛けて農業体験をしたり自分でも野菜づくりに励みました。これからTPP参加などで消費者はよほど目を光らせなくては…。特に子供たちのために。
<b>&lt;遺伝子組み換え&gt;</b>	
322	「食の安全」という場合、特に最近の放射能、遺伝子組み換え他、「安全と思わせたいための方便」という感じを受けることが多い。「不安である」ことを認めた上でありのままの説明がほしい。
323	遺伝子組み換え食品が承認されショックを受けています。「安全である」証明がないし、長期間与えた場合のこわい報告があり、本当に安全なのでしょうか。
324	遺伝子組み換え食品について、もっと考えなければいけないと思います。知らず知らずのうちに口にしている気がします。
325	加工品も検査する。
326	今年のように高温だったり雨が降らない時期が長かったりすると、農作物の出来が悪くなると思うのですがそのために農薬や肥料がどの位多く使用されるかは非常に興味があるところです。
327	数か月、数年後の影響が心配。また、業者が表示しないことで嘘ではないかと疑ってしまいます。
<b>&lt;輸入食品等&gt;</b>	
328	中国の食品の成分表示に対する不信感があります。輸入食品の安全性も心配です。ごく一部だとは思っているので、やはり正確な情報提供が求められていると思います。
329	添加物や輸入食品の怖さを知る機会が無いと、「安い」だけで食品を購入したり安易な外食をしがちなので、学校の教育にも盛り込んだ方が良いでしょう。真面目な問題だと思います。
330	特に被災地だからと選んでいる訳ではない。その日に必要なもので価格・鮮度等、私の基準に合ったものを買っている。ただし、中国産と明記してあるものは極力避けている。信頼しかねているので！風評被害かもしれないが…。
331	日本の国内で作られたものの方が、外国から時間をかけてもって来たものより鮮度がいいと思うので、

	外国のものはあまり買うことは少ないです。
332	弁当や外食の食材に不安を感じている。安い輸入品が使われていると思うのであまり弁当・外食は利用したくない。
333	輸入食品が心配、農薬や添加物が気になります。日本は世界から安全な食品を生産していると評価されていたのに、残念です。生産者の方々の落胆を思うと、つらいです。ここにTPP協定など、日本の農業が心配です。
334	安全についての考え方が国家間、国内においても利害関係によって異なるので不安のまま身を処するしかないのかと半ば絶望している
335	検査が1か月前の物でもOKならば市場に出ている。本当に安全かはわからない。それでも中国、韓国産よりはまし。*
336	個人的に控えているのは、中国と韓国からの輸入食品、加工食品。この二国への不信感は、両国の食に対する国民意識の低さ、モラルの低さへの不信からくるもので、容易に払いされるものではない。一方、同じく買い控えている被災地域の食品に対しての不信感は、原発事故発生以来の政府の対応への不信であって、その姿勢に真摯さ・誠実さを感じることができれば、被災地域の食品に対する不信も軽減されると思う。*
337	中国の食品は食べたくないけれど、どこに紛れているかわからず、食べてしまっている。中国を一度でも経由した食品にはそう表記してほしい。
338	特に中国から輸入された食材や食料品に不安がある。
339	放射性物質は検査の上で出荷されているので問題無い。むしろ外国産品、特に中国産品の安全性が心配。

## その他

### <乳幼児・子どもと食の安全>

340	100%安全なものは存在しないが、子供たちにはできるだけ安全なものを食べさせたい。
341	幼い子供がいるのでやはり心配です。
342	完全に安全なものばかりを選ぶことは出来ないだろうな～と思いながらも、これからの未来をになう子供達の食生活が心配です。
343	子どもがいなければ原発事故で被災した地域の食品を率先して購入したと思う。水の問題を含めて余りに秘密にされている。(正確に知らされていない)放射能に関する情報が多すぎる。これからの世の中を背負う若い人たちには、リスクのあるものは口にしてほしい。*
344	食の安全は子供達の将来にもかかわることなので、しっかり教えていきたいと思います。*
345	成長期の子供をもつ親として食の安全にはとても興味があるが、情報が多過ぎ何が正しいのか判断に迷う。結局、親の自己判断になっているように思う。信頼できる食の流通を望みます。*
346	食べ物が自身の体を作るのだと痛感しています。安全な食品を子供達に食べさせる事ができるようにしたい
347	日本の将来を担う子供達にはすこやかに育ててほしいので、安全な食べ物が身近にあってほしい。
348	乳児に食べさせるものがない。まだ海に放射能が漏れている魚は食べられない。
349	乳幼児には少し神経質に気をつかう
350	乳幼児を育てている為、少なくとも小さい月齢の間は添加物の少ないもの、放射性物質の影響を受けないものを選びたいと思っている。
351	乳幼児を持つ母親としては、本当に安全なのか不安を感じ、原発事故で被災した地域の食品を買う事ができない。*



352	被災した地域の方を思うとつらくもありますが、小さな子供を持つ親として、後々やっぱり問題があったのでは…では納得などできません。放射能は特に、見えない分、わからない点も、その他の問題より多く感じるので、できる限り避けたいところです。その為にもできるだけ信用できる情報を与えてもらいたいという気持ちがあります。
353	福島農産物に関して、私は良いですが、小さな子供にはできれば避けたいのが本音です。でも、協力はしたいので、たまに買います。
354	安全性については消費者それぞれで価値観が異なると思う。特に子供もちの方、妊婦中の方など
355	究極の食の安全は、食の安全保障であり、その意味で食料自給率がさらに低下することは問題。食料自給率は、生産の問題であるだけでなく、消費の問題としても捉えるべきだと思います。
356	検査を信用して、被災地産の野菜や果物を購入しているが、乳幼児には、避けたいと思う気持ちもある。
357	子供たちには、安全な食べ物を食べさせたい。
358	子供にはできるだけ摂取を控えさせたい気持ちはよく分かります。
359	子供や孫の世代、その次の世代のために、今後も安全な食を希望します。
360	大人だけの世帯なら気にしないのだが乳幼児がいるので、過敏になっている。放射性物質、環境ホルモン等、成長期の体への影響が大きい物質をできるだけ排除したいと思っている。できる限り、親の手で避けられるものは避けなければいけないと思う。
361	特に子供向けの菓子メーカーに食の安全に関するモラルの低さを感じる。利益だけを追求するのではなく自分の子供の口に入れることを考えて製品を作ってほしい。特に食品企業にも言えるが、子供向け商品の中身が信頼できないものが多い。
362	日本の食品はあまりにも輸入が多すぎます。価格が多少たかなくてもみんなが国産を購入すれば安くなり安心して子供・孫にも食べさせられる。*
<b>&lt;消費者としての姿勢&gt;</b>	
363	「安全、安全」と言われても、きちんとした根拠が示されていないので不安を覚えるのだと思う。偏った食生活をしなければ、それほど心配することはないと私自身は思う。
364	100%安全なものは存在しないが、不安がっているのは、食生活が楽しいものにならない。
365	顔の見える産直が良いと思います。
366	かなり詳しく測定してから出荷しているので、ある程度信頼できる。
367	究極的には土壌・環境・種など様々な事が安全であると良いのですが、「100%安全」というのは無理という諦めがあります。
368	口から入る食品で体はできているので、安全、安心な食品を毎食口にできることが望ましいと思います。が、今の流通ではわからないことも多いので正直子供、孫の事がいつも心配です。
369	この地球上で100%安全な食べ物などないと思うので、あまり気にしない。現在「安全な」食べ物に対して気にしすぎていると感じる。それに体が慣れていく。
370	消費者は「安全」ではなく「安心」を求めている。「安全」は100%は無い。
371	食の安全に関するテストを信用している。
372	食の安全は家族の食事を担う者には、自分に対してのことだけではないので、必要以上に不安な要素を排除したいという気持ちが先行してしまいます。気持ちなので頭ではわかっているけど、情報があっても受け入れるのはなかなかむずかしいかも。
373	出来るだけ安全な食品を消費したと思いますが、復興支援もしたいと思っています。
374	どのような所で誰がどのようにして作ったのか知り、食べていきたい。その意味で産直はとても良いと

	思う。
375	長年がんばってきた生産者の作る青果を不安を抱えながら購入しています。
376	日本国内産のものは安全基準がしっかりしているので安心できる。
377	日本の食は安全だと常時思っています。
378	畑を借りて野菜を作り始めました。自分の手で安全を守る意識も大事です。
379	販売をする商店側が安全性に強い関心があるので、安心して求めています。
380	被災地域とか「産地」を余り気にしない。
381	私たちの口に入るものなのでとても心配です。安全な食品をこれからも利用出来るよう努力したい。
382	食べたい欲しいものを購入し原産地をあまり意識して購入していない。
383	日本の食品は一定の品質が確保されていると思う。一般に神経質すぎる。
384	家畜虐待している肉は買いたくない。安くても。
385	このところ食の安全の関心が放射性物質に傾いているが、農薬や添加物などへの関心が薄れているように感じる。
386	小麦粉の漂白剤によるアレルギーが多いと聞き、自然だった昔に帰りたくなります。加工品、調理済品はなるべく買わないようにしています。飲料の缶や、ペットボトルに毒がありそうで不安です。
387	最近テレビなどで土ではなくても育つ野菜などの栽培が紹介されているが、キレイでいいですが栄養価はどうかと疑問があります。
388	正しい情報と知識で安全で美味しいものを食べられたら良いと思います。
389	地産地消、国内の生産物を購入するように心がけています。日本国内での生産性を高めることが重要
390	地産地消で旬の食材が望ましい。
391	東電だけの理由（責任）にするのはおかしい。国、農家など平気で営利目的で多くの薬を使った食品を作っている。
392	本当に安全な食品は手に入れるのはむずかしい中で、できるだけ身体にとって自然にとっても良い物をもっと買える様になってほしいです。
393	安全と安心は異なるのに同一の問題として考えていることに問題があると思う。そのような観点から情報を提供することが必要だと思う。
394	安全なものはあるのでしょうか？日本産でも嘘をついていたり、農薬を使ったりなどあまり安全といえる物はないように感じます。
395	安全のためにその理由がわかれば多少価格が高くてやむをえないと思う。減農薬野菜などを積極的に購入したい。
396	あまり安いものは買わない。信用のある店で購入するようにしている。まわりに食中毒のない地域に住んでいるが、そのような人がいるうわさは聞いたことがない。
397	食品の購入のポイントは価格です。
398	信頼できれば安全なものは多少価格が高くてもしかたない。
399	少しでも高い物を買う。（5～10%）安全を優先するなら少し高くても購入します。
400	直接口に入れる物なので、どうしても神経質になってしまいます。少々高くても北海道産etcを購入している
401	出来れば日本国内で生産したものを食べたいですね！
402	自給率が40%であることと、食物を大切にすることをきちんと教育することを根本におくこと。そし

	て、日本もしくは地球全体を考えて、安全性のバランスを考え、伝えるべきだと思う。＊
403	農薬（あやしい、添加物）の問題で、鮮度の少々落ちた物のうちどちらかを選ぶ場合、安全性と栄養の問題でどちらかを選んだらよいかを知りたい。
404	安全な物を食べたいと日々思っていて買い物していますが、何が安全な食品なのかよくわからない現状です。
405	今日では様々な情報が氾濫しているので、食の安全についての正しい理解が得づらい。
406	食の安全性は新聞やテレビで見るのが殆ど。それも確実性については分からない。
407	正しい情報を得るのが大変。どうやって見極めればいいのか分からない。
408	何を基準にしたらよいか迷っています。
409	安全に関心はあるが、正しい情報を選別できているかどうかは分からない。
410	生産者から遠いところにいる消費者は安全だから販売されていると信じる以外確認の方法がない。
411	アレルギー食品について、ゴマやアーモンド粉も加えられて関心があります。
412	知れば知るほど食べるものがなくなり生活に不自由が出る世の中に不安を感じてしまいました。
413	生産者、企業が中心になってしまい、消費者の立場で考えられる政治家や官僚の人が少ないので、消費者の立場の人が努力、頑張ってもなかなか受け入れられない社会になっているのではないのでしょうか。
414	世界的な食料事情を考えると食料の供給には将来的に不安がいっぱいです。私たちは自分の食の安全だけ考えていても、いずれ行き詰ってくると思う。世界的に安全・安心のことを考えていく必要があると思う。
415	情報に頼るしかないのが現状。疑問を持てば、その疑問は限りなくひろがっていくものだ。
<b>&lt;生協組合員としての意見&gt; ※</b>	
416	放射能は限界値以下でも0ではないので、風評被害とは言えないでしょう！しかし、長年頑張ってきた、生産者の作る青果に不安を抱えながら購入しています。＊＊
417	安全な食品を食べるのに苦労しない様になる事を希望します。＊＊
418	現代は情報が氾濫しているので、どれを信用していいのか分からない時がある。＊＊
419	最近、照射食品についての人体への影響の恐ろしさを聞く機会があり、もう少し知識を深めて多くの人に広めていきたいと思っています。＊＊
420	消費者が選択できるように表示をきちんとして欲しい。＊＊
421	一般に流通している被災地の食品は検査については不安が残る。＊＊
422	不安がっていると免疫が下がるので体に良くない。＊＊
423 ~430	（生協に対する期待や要望について：8件）＊＊
<b>&lt;アンケートについて&gt;</b>	
431	アンケートをもっと簡単にした方が良い。担当者が机上で作成したもので、農作物をつくる人の思い、美味しい食材を求める消費者の観点に立っていない。
432	問3、問10等に問題がある。100%の安全はない⇔100%安全でなければならない、では選べない。できうる限りの安全を求める考え方を反映できない。風評被害がある⇔実際に安全性に問題がある、では選べない。実際に問題があるかどうかの判断ができるだけの、きちんとした情報・データがないことが問題。この立場をアンケートに反映できない。